

大牟田市立天領小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、学校教育目標「共に未来を築く、心豊かで、かしこくたくましい子どもの育成」の実現に向け、進んで運動の魅力に触れ、運動・スポーツを通して様々な課題の解決に取り組む、ともに考え行動する子どもを育てるESDを推進している。

本校は、ICT機器を活用し、自らの課題を明らかにしたり、その解決を協働して行ったりする体育科の研究を長年続けている。そのなかで、様々なアスリートとの交流を幅広く行い、「ひと・もの・こと」の積極的な活用を図っている。

こうした本校の教育的資産を活用し、体育科、生活科・総合的な学習の時間、道徳等を中心に、人々・社会とかかわる課題解決的な活動を重視し、「オリンピック・パラリンピック」を通じたESDを展開している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

オリンピック・パラリンピックムーブメント推進を以下の点で展開する。

○オリンピック・パラリンピックの歴史や精神について学ぶ。

○教科学習指導におけるオリンピック・パラリンピックを生かした教材から学ぶ。

○競技者とのふれあいを通してその精神を学ぶ。

そのために、総合的な学習の時間を中心に、体育科、道徳、特別活動との関連を図る全体計画を策定している。

【オリンピック・パラリンピックに関する学習の内容】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
体育科	ころりんオリンピック	オリンピックの森であそぼう	跳び箱オリンピック			
生活・総合 道徳		発見！みんなが楽しくらす町	「個性の伸長」オリンピック金メダリスト内村航平選手に学ぶ	「勇気と希望・努力と強い意志」オリンピック金メダリスト高橋尚子選手に学ぶ	パラリンピック博士になろう	オリンピックの魅力をさぐろう

3 特徴的な活動事例

【第6学年・「オリンピックの魅力をさぐろう」】

日本や外国のオリンピック選手の中から、特に自分が興味を持った選手の活躍や生き方について詳しく調べ、さらにメダリストとの交流やミニオリンピックの体験を通して、スポーツの意義や価値に目を向けたり、フェアプレーの精神や楽しさを味



わわせたりした。

そして、友達や保護者へ伝えたい内容をまとめた。さらに、授業参観の時にポスターセッション形式で学習内容を発信した。

【第4学年・道徳「希望と勇気、努力と強い意志」】

オリンピック金メダリストの高橋尚子さんを題材として取り上げ、成長し続ける自分でありたいという気持ちを持ち続けることの大切さについて考え、苦しみの向こうに輝かしい自己実現があるということについて学ぶ学習を行った。



【第2学年・体育科「オリンピックの森で遊ぼう」(跳び箱運動・遊び)】

器械遊びへの興味関心を高めるとともに、マットに転がったり、跳び箱を跳び越したりする動きをイメージさせるために、オリンピックの映像や上級生の動きを見せ、学習をスタートすることとした。

新しい遊び方への挑戦意欲を高めるために、できるようになった遊び方毎にシールを貼って金メダルや五輪の輪を作った。



【全学年・競技者とのふれあいを通してその精神を学ぶ】

10月に行われる3校対抗のバスケットボール大会前に、北京オリンピックのソフトボール競技金メダリストの藤本索子先生（現高等学校教諭）と高校生ソフトボールチームを招聘した。

藤本選手の現役当時の思いやチームワークの大切さについての講話と、高校生チームとの交流試合（6年生）を通して、チームスポーツの意義や価値、現役選手（高校生）のプレーのすばらしさを学ぶ学習を行った。

当日は、金メダルを持参され、児童一人一人に手に持たせられた。本物の金メダルに大きな感動を味わった。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・本校は、体育科学習指導だけでなく、学校教育活動全体において「オリ・パラについての学び」や「オリ・パラを通じた学び」を推進してきた。前述した第6学年の総合的な学習の時間のように、体育や道徳の学習とも関連させながら横断的・総合的な学習を展開し、より効果的にねらいに迫る工夫を行うことができた。

○課題

- ・今後も、全学年で教育課程を充実・改善し、より一層本校E S Dの目的に迫る学びが展開できるよう推進していきたい。